ネパール土石流 死者270人超

不明1300人 温暖化 氷河崩壊か

トリシュリ川を下った土石流を受けて泥に覆われた建物＝27日、ネパール・ヌワコット郡（ロイター）

ネパール東部ラスワ郡で26日に起きた大規模な土石流による被害について、ネパール当局は27日、少なくとも270人が死亡し、行方不明者の総数が1300人を超えるとの見通しを明らかにしました。連絡が取れていない旅行者は644人で、うち517人が外国人です。日本人旅行者5人とも連絡が取れていないとしています。土石流の原因については今後解明が進むとみられますが、専門家からは地球温暖化による氷河崩壊の影響を指摘する声が上がっています。

現地は中国チベット自治区と国境を接する地域で、地元紙カトマンズ・ポストが、地元研究機関の洪水予測部門による報告書に基づいて報道したところでは、チベット側で発生した土石流が国境を越えて下流に流れ下り、ブテコシ川、トリシュリ川、ナラヤニ川に到達したといいます。

それによると、8時37分にマグニチュード（M）4・4の地震を観測。そこから下流のデブガトで水位が下がり始める午後6時半まで約10時間土石流が続きました。通常を上回って流れた水量は推計2000万立方㍍だといいます。

当初観測された地震については、米地質調査所（USGS）が、地震ではなく、氷河の崩壊と壊滅的な土石流によって発生した地震動だったことが判明したと発表しています。

また北京の世界気象センターは26日、ヒマラヤ地域に過去10日間かなりの豪雨が続いていたと報告しています。

外国人が多く巻き込まれたのは、チベット自治区のカイラス山、マナサロワール湖という宗教の聖地への巡礼ツアーが盛んだったためです。カイラス山はチベット仏教では世界の中心にあり神々が住むとされる「須弥山」で、インド神話でも聖地です。

行方不明者のうち最も多いのがインドで177人、ついでオーストラリア34人、英国33人、カナダ25人などとなっています。マレーシアは55人が連絡が取れないとしています。

気温上昇が影響

今回の事態の背景にあるのは、地球温暖化です。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は2019年9月に、海洋と雪氷圏に関する特別報告書を発表。とくに北極、南極、高山帯といった雪や氷、永久凍土を蓄えた地域が気温上昇に伴って大きな破壊を受け、生態系やそこに住む人間の活動に大きな影響を与えることを警告していました。

オーストラリアのモナシュ大学のレバン・ティエリゼ研究員（氷河地形学）は、原因の究明は今後進むとしながらも、「気候変動によって世界中の氷河が解けている。ヒマラヤのような高地でも同じだ」と指摘。「北極、南極に次いで多くの雪と氷を蓄えている第三の極とも呼ばれるヒマラヤ地域の巨大な万年氷はもはや安全ではない」と述べています。（ニュースサイト「カンバセーション」）

同氏によると、ヒマラヤなど高山の急斜面は永久凍土（何世紀も凍結してきた岩と土）でできており、気温上昇にともない、斜面は解け始め、不安定になります。もし地震や斜面の崩壊が起きれば、突然かつ破壊的な土石流が発生するといいます。

一瞬で集落のみ込まれる

生還の住民ら語る

【ニューデリー＝時事】「すべて破壊された。何も残っていない」。ネパールと中国にまたがる渓谷地帯を26日襲った土石流はうなりを上げ集落を一瞬でのみ込みました。辺り一面は茶色い土砂に覆われ、景観が一変。かろうじて生還した住民はなすすべなく途方に暮れました。

軍や警察はヘリコプターなどを使い、住民の救出や不明者の捜索に当たっています。

被害の大きかったネパール東部ラスワ郡ゴサイクンダ地区で暮らすペマ・ドルジェ・ガレさんは自宅でお茶を飲んでいたところ、「地震のような揺れを感じ、直後に土砂が村を襲った」と振り返ります。家族と急いで避難してから1分もたたないうちに、自宅や近所の家屋がことごとく押し流されました。

自宅を失った後、水以外何も口にせず屋外で過ごし、当局による食料支援を待っているといいます。「気候変動が洪水や氷河崩壊を引き起こすと聞いてはいたが、このような規模だとは想像もできなかった」と嘆きました。

中国でも被害 死者3人

【北京＝宮井貴光】中国南部・チベット自治区シガツェ市ギロン県とネパールの国境地帯で26日に発生した大規模な土石流で、中国の地元当局は27日午前に記者会見を開き、3人の死亡が確認され、558人が行方不明だと発表しました。

チベット自治区は現在夏の観光シーズンに当たり、国内外から多くの観光客が訪れていました。行方不明者の中には外国籍の260人も含まれています。

中国メディアは、チベット自治区側に流れ込んだ土石流が道路や橋、建物を一瞬にしてのみ込む映像を伝えています。習近平国家主席は26日、行方不明者の捜索に全力を挙げ、被災者を早急に避難させるなど犠牲者数を少しでも減らすよう指示しました。人民解放軍が救助活動に当たっています。

中国国営中央テレビが伝えた救助部隊員の話によると、被害現場では1・5～2㍍の土砂が堆積し、現場付近の道路も1・5～2㌔にわたって寸断されています。

ネットメディア「封面新聞」は、「地球温暖化はこの災害の重要な背景要因であり、ヒマラヤ高地で災害が発生する危険性をさらに高めている」とする専門家の分析を紹介しました。

イスラエルが警告

"ガザ たこ揚げた人を攻撃"

【カイロ＝米沢博史】ネタニヤフ首相とカッツ国防相は23日、パレスチナ・ガザ地区からたこを揚げた人物を攻撃し、周辺住民を退避させると警告しました。カッツ氏は24日、「たこはドローンと同様に扱う。爆発物が取り付けられているかどうかは問題ではない」と述べました。

イスラエル軍によると、22～23日にはガザ境界付近で少なくとも4個のたこが確認されました。ただ、不審物は取り付けられておらず、脅威はなかったとしています。

これを受け、ガザ地区では子どもたちにたこ揚げを控えるよう呼びかける動きが広がっています。

現地ジャーナリストのムハンマド・ダフマン氏によると、ガザ地区では、たこ揚げが長年、子どもたちに親しまれてきました。2011年には、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）が約1万3000人の子どもを集めたたこ揚げ大会を開催し、世界記録を更新しました。簡素な材料で作れるため、現在も避難キャンプなどでたこ揚げが行われています。

ガザ市の避難民カリ・タベト氏は、10歳の息子がたこを揚げる姿を見守りながら、危険への不安を募らせています。自宅を破壊され、避難生活を送る中、「子どもから好きなたこを取り上げるのか、それとも危険にさらすのか、苦しい決断を迫られています」と語ります。

ダフマン氏は本紙の取材に、イスラエルの警告を「新たな攻撃を開始する口実」と指摘。たこを揚げないよう子どもたちに厳しく注意する大人の姿は、恐怖が日常に浸透していることを物語るとし、「ガザでも、子どもが子どもらしく遊び生きる権利がある」と訴えています。

子どもの遊び 奪われる

避難民キャンプのテントでたこを作るパレスチナの人々＝25日、ガザ市（ロイター）

米攻撃の調査開始を

エクアドル 漁民ら要求

国会前で行方不明者の写真などを掲げて抗議する漁民や行方不明者の家族、支援の国会議員ら＝25日、キト（グスタボ・マテウス議員のXから）

太平洋上で米軍から「麻薬船」と疑われ攻撃を受けた南米エクアドルの漁民やその家族らが25日、首都キトの国会前で真相究明と責任追及を求めて声を上げました。国会は4月に調査開始決議を可決しましたが調査は未実施。漁民らはトランプ米政権と親密なノボア政権とその与党が真相究明を阻んでいることに強く抗議しています。

米軍は昨年からカリブ海や東太平洋で米国向けに違法な麻薬を運んでいると一方的に見なした小型船舶を相次いで攻撃し、これまでに乗組員200人以上を殺害。国連の人権報告者らは国際法違反と告発しています。

現地からの報道によると、今回の抗議に参加した漁民は、太平洋上を航行中に攻撃を受けた漁船に乗っていました。8人の漁民はいまだに行方不明です。

大けがを負いながらも生還したある漁民は、爆撃後に船に乗り込んできた兵士たちが船内には麻薬はなく、氷と魚しか積まれていなかったと確認したが、証拠隠滅のため後で船を砲撃し炎上させたと証言しています。

漁民らは調査開始を求めて、国会議員らとの面会を予定していましたが、多数を占める与党の指示を受けた守衛によって、国会への入館さえ拒否されました。

抗議行動には、左派野党・市民革命党のグスタボ・マテウス、モニカ・パラシオス両議員が参加し、漁民らに連帯を表明しました。

マテウス氏は、「なぜ彼らは発言権を奪われるのか。（行方不明者の）家族は答えを知る権利がある！」とXに投稿。パラシオス氏はメディアの取材に対して、国会がノボア大統領と与党勢力に支配されていると批判した上で、議事堂の扉は閉めることができるが、漁民らの「正義を目指す闘いや要求を黙らせることはできない」と語りました。

イスラエルの ガザ攻撃非難

平和評議会代表

【ニューヨーク＝時事】パレスチナ自治区ガザの暫定統治機関「平和評議会」のムラデノフ上級代表は26日、イスラエルとイスラム組織ハマスの停戦合意が崩壊すれば「全ての人にとって後戻りができなくなる」と警鐘を鳴らし、攻撃を続けるイスラエルを非難しました。パレスチナ情勢に関する国連安保理の会合で語りました。

ムラデノフ氏は継続するイスラエルのガザ攻撃について「（ハマスの）非武装化実現を遅らせ、民政への移行を妨げるだけ」と批判。再び状況が悪化すれば、「（ガザ）再建のために残るものは何もなくなる」と指摘し、トランプ米大統領の主導で発表されたガザの和平に関する15項目の工程表が唯一の選択肢だと訴えました。

トランプ氏は7月末、ハマスが工程表を受け入れて武装解除に合意したと表明しましたが、イスラエルは工程表を拒絶しています。会合に出席したイスラエル代表は、合意履行を訴えるハマスの「言葉に惑わされてはならない」と強調。武装解除は「約束だけでなく、完全で検証可能かつ不可逆でなければならない」と主張しました。

オマーンとの 協議調整続く

イラン

【カイロ＝時事】イラン政府高官は26日、原油輸送の要衝ホルムズ海峡の通航再開を巡る対岸オマーンとの協議について「まだ最終決定に至っていない」と述べました。ロイター通信が伝えました。精鋭軍事組織「革命防衛隊」報道官は同日、両国が海峡の分担範囲や収益の分配で合意したと主張していましたが、実際は調整が続いているもようです。

両国の協議は最終段階にあるとされます。イランはオマーンを通じ、米国と事実上の交渉を行っているとも伝えられています。

毛沢東風刺で禁錮3年

中国 芸術家に実刑

中国河北省三河市の裁判所は25日、中国の故・毛沢東主席を風刺した彫刻作品で知られる芸術家の高兢（こう・しん）氏（70）に「英雄・烈士の名誉を侵害した罪」で禁錮3年の実刑判決を出しました。ロイター通信などが伝えました。

米ニューヨークを拠点としている高氏は、2024年8月に家族に会うために中国を訪問した際、当局に拘束されました。今年3月に1日限りの非公開裁判が開かれていました。刑期は27年8月までになります。

高氏の妻はロイター通信に、「判決を知り、立ち直れずにいる。打ちのめされた」と語りました。

英国在住の中国人作家、馬建氏は高氏の即時釈放を求める署名活動を開始。すでに約200人の作家や芸術家が支持を表明しているといいます。

高氏は毛沢東が発動した文化大革命（1966～76年）で父親が迫害され死亡。85年から毛沢東を風刺する作品を発表してきました。

フラッシュ

■米テロ、公判開始28年に

【ニューヨーク＝時事】キューバにあるグアンタナモ米海軍基地の軍事法廷は26日、2001年9月に起きた米同時テロの主犯格とされる国際テロ組織アルカイダ幹部のハリド・シェイク・モハメド被告ら4人の公判を28年6月5日に開始すると決定しました。

■トランプ氏、基調演説へ

【ワシントン＝時事】米共和党全国委員会は25日、9月9～10日に南部テキサス州ダラスで開催する共和党大会のプログラムを公表しました。バンス副大統領が初日、トランプ大統領が2日目にそれぞれ基調演説を行います。

■病院火災乳幼児14人死亡

【ニューデリー＝時事】パキスタンの首都イスラマバードの病院で26日、火災が発生し、乳幼児少なくとも14人が死亡しました。地元メディアが伝えました。当局が詳しい原因を調べています。犠牲となった乳幼児はいずれも母子病棟の3階にいました。1人は医師によって救出されました。

FLASH

第3章　独り身ナポリタン　（13）

二十代前半の、若手社員という雰囲気の背中だった。採用試験で散々面接してきたから、顔を見なくてもわかる。真面目で元気があって、おそらく体育会系の部活出身の、会社のおじさんたちにかわいがられるタイプの若者。

知博と博子の子どもでもおかしくない年齢の子が、力なく生死の境界を踏み越えようとしていた。

それが無性に許せなかったから、あの日、喫茶店で朝まであの二人に付き合ってしまったのだ。その後も、男三人のむさ苦しいお茶会に参加してしまっているのだ。

総武線のホーム、あの夜と同じあたりで電車を待ちながら、つくづくそう思った。

＊　＊

十月に入ったというのに、日中の気温は三十度近かった。残暑はこのまま十月中旬まで続く見込みだと、今朝の天気予報で言っていた。

夜になっても蒸し暑さは続き、知博はジャケットを小脇に抱えたまま喫茶メーデーへ続く階段を上がっていった。

待ち合わせだと店員に伝え、八割ほど埋まったテーブル席を見回す。壁際のテーブルに、すっかり見慣れた顔を見つけた。いかにも会社帰りの、一日働いてちょっとくたびれたワイシャツ姿の背中が、二つ。椅子の背もたれには夏用のジャケットが掛けられている。

「帰山さん、ご無沙汰です……」

知博に気づいた安堂が、取引先でも相手にするようにすっと立ち上がって一礼する。ハキハキとしたあいさつは、語尾がしぼむように沈んでいった。

「あの、帰山さん」

言葉を探す安堂をアシストするように、伊予原が上目遣いでこちらを見てくる。

二人の視線は、明らかに知博の服装に向いていた。ワイシャツと、真っ黒なネクタイと、真っ黒なスラックス、腕に抱えた真っ黒なジャケット。店の照明に照らされても、白や灰色に光ることがない、深い深い黒色。

「妻の一周忌だったんでね」

それだけ言って、空いていた席に腰を下ろした。